

DXを進めるため、社内の人材育成が必要と75%が回答 課題は「取り組み方がわからない」「知識・スキルを持つ人材の不足」

社会のDX化の波が全世界を席卷しており、どの企業においてもDXを推進することが急務となっています。一方で、その取り組み状況や成果についてはばらつきがあり、特に全国の9割を占める中小企業では、まだ取り組みを始められていない企業が多く、大きな課題となっています。ペネッセでは2023年9月に全国の中小企業の経営者を対象とした調査を行いました。今回は、その調査結果の一部をご紹介します。

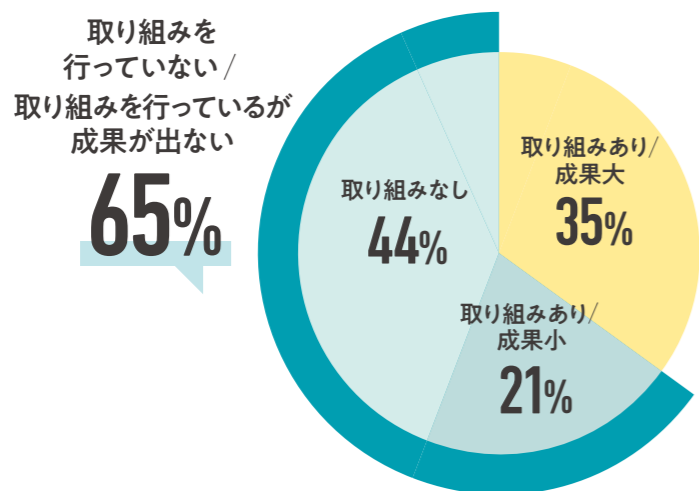
【調査対象】従業員数300名以下の企業の経営者・役員
【調査方法】WEB
【実施期間】2023年9月16日～9月20日
【回答数】1,760名
※自社にDX/デジタル化が必要だと考えている企業を対象とする。



調査担当/ペネッセ 菊繁

DX/デジタル化の取り組みについて

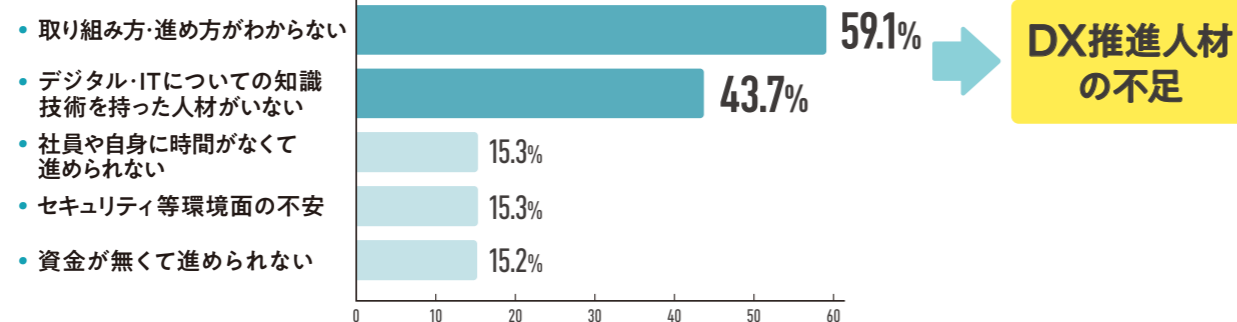
Q. 自社におけるDX/デジタル化の取り組み状況は？



自社にDX/デジタル化が必要と考えているものの、「取り組みを行っていない」「行っているが手ごたえがないと感じる」企業が65%でした。中小企業におけるDXの推進にはまだまだ課題があることがわかりました。



Q. DX/デジタル化を進めるにあたって、現時点で特に感じている課題は？(複数選択可)



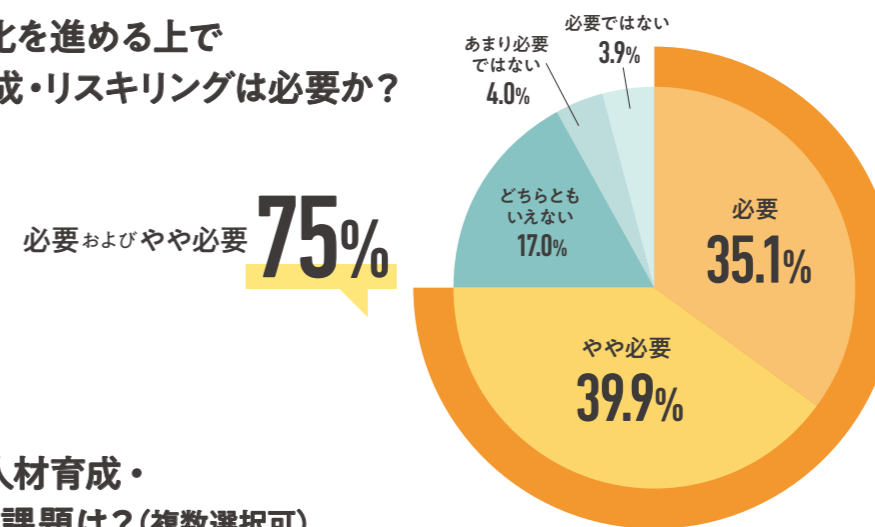
DX推進人材の不足

DX化を進める上で直面する最大の課題は、「DXの取り組み方・進め方がわからない」「知識・技術を持った人材がない」ことでした。新たな技術を理解し、それをビジネスに活かすためには、専門的な知識と経験が必要となります。しかし、中小企業にはそのような人材を確保するための資源が十分でない場合が多く、「どういった取り組みを行えばよいのか」「それを推進する知識を持った人材が現場に足りていない」そんな課題が見えてきました。

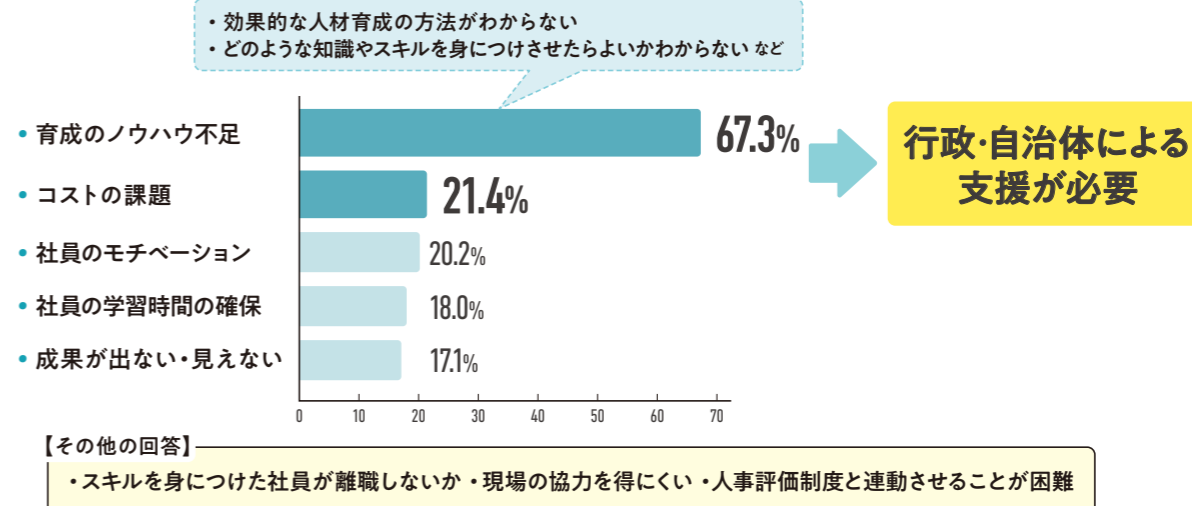


人材育成・リスクリングについて

Q. DX/デジタル化を進める上で社内の人材育成・リスクリングは必要か？



Q. 社員に対する人材育成・リスクリングの課題は？(複数選択可)



行政・自治体による支援が必要

DXを推進する人材が足りないことへの対応として、75%の経営者が社内の人材に対するリスクリングが必要だと考えていることも見えてきました。ただし、実際に人材育成を行うにあたり、ノウハウ不足やリソースの捻出などが経営課題となっており、この壁を乗り越えていくためには、行政や自治体の支援がブレイクスルーの一手になるのではないかと考えています。

